



初期ネットワーク設定

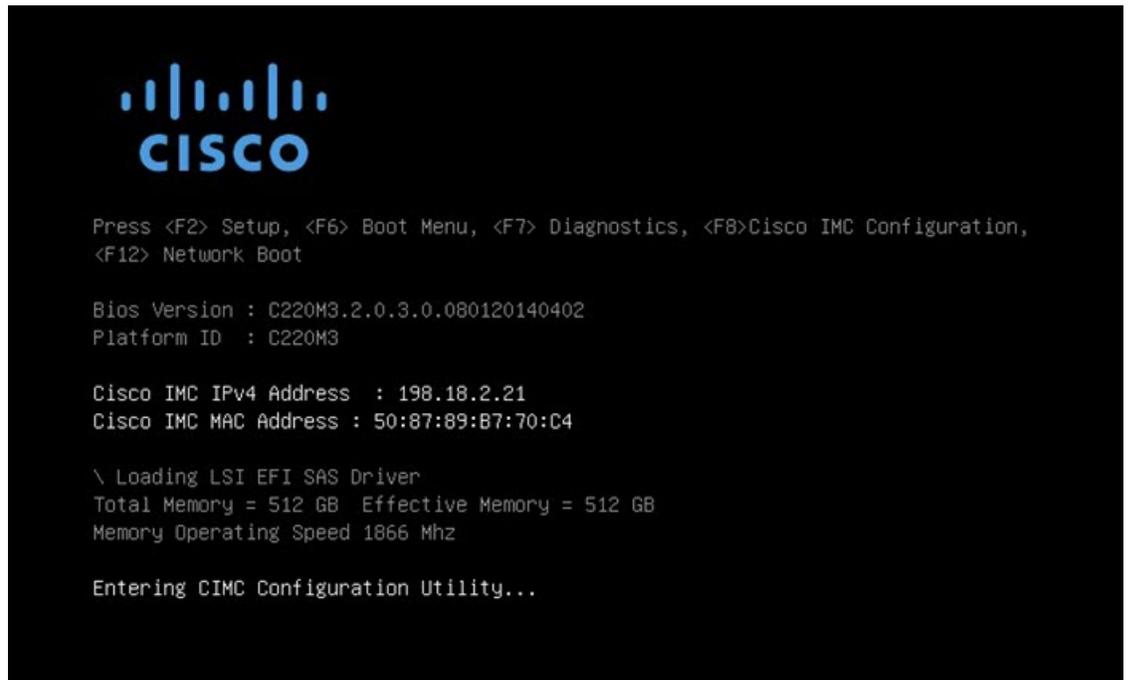
この章では、TGSH ダイアログを使用してネットワークの初期設定を完了する手順について説明します。内容は次のとおりです。

- [アプライアンスの電源オンと起動 \(1 ページ\)](#)
- [TGSH ダイアログを使用したネットワークの設定 \(3 ページ\)](#)

アプライアンスの電源オンと起動

サーバ周辺機器、ネットワーク インターフェイス、電源ケーブルを接続したら、Threat Grid M5 アプライアンスの電源を入れ、起動するまで待機します。シスコの画面が短時間表示されます。

図 1: ブートアップ時のシスコ画面

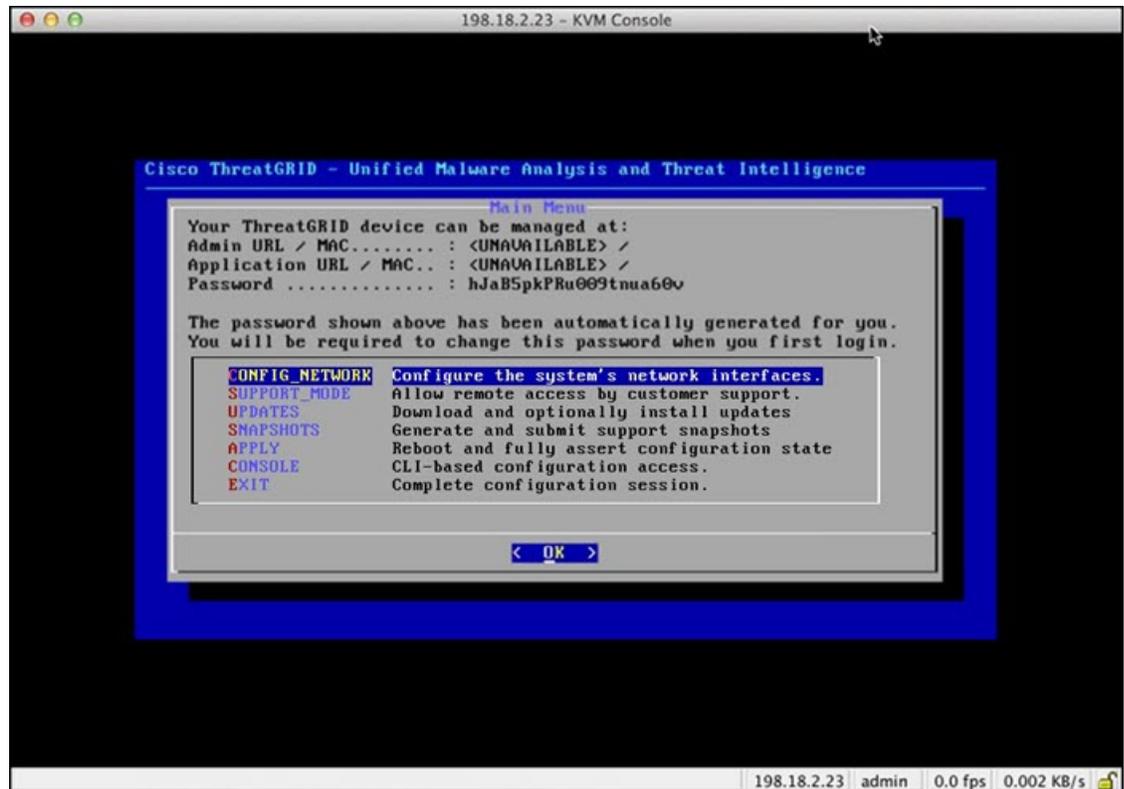




- (注) このインターフェイスを設定する場合は、メモリチェックが完了した後に **F8** を押します。
『Cisco Threat Grid アプライアンス管理者ガイド』の付録「CIMC の設定」を参照してください。

サーバ起動と接続が正常終了すると、コンソールに TGSN ダイアログが表示されます。

図 2: TGSN ダイアログ



ネットワーク インターフェイスの接続がまだ設定されていないため OpAdmin Portal に到達できず、このタスクを実行できないため、[Admin URL] は利用不可として示されています。



- 重要** TGSN ダイアログには、初期管理者パスワードが表示されます。このパスワードは、この後の設定手順で OpAdmin Portal インターフェイスにアクセスし、インターフェイスを設定するために必要となります。パスワードを別のテキストファイルでメモ（コピーアンドペースト）しておきます。

TGSH ダイアログを使用したネットワークの設定

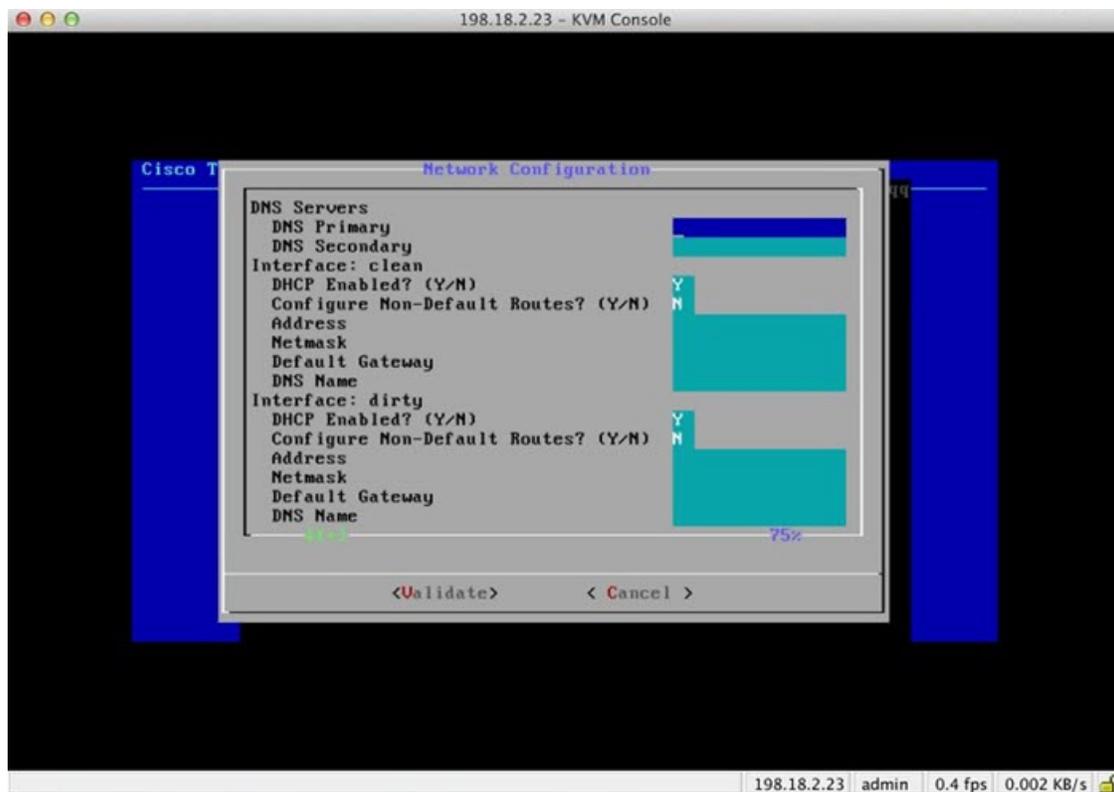
初期ネットワーク設定は、TGSH ダイアログで行います。基本設定が完了すると、OpAdmin ポータルへのアクセスが許可されます。このポータルでは、追加の設定タスクを実行できません。



- (注) DHCP ユーザの場合、次の手順では、スタティック IP アドレスを使用していることを前提としています。DHCP を使用して IP を取得している場合、詳細については、『[Threat Grid Appliance 管理者ガイド](#)』を参照してください。

ステップ 1 TGSH ダイアログで、[CONFIG_NETWORK] を選択します。[Network Configuration] コンソールが開きます。

図 3: TGSH ダイアログ : [Network Configuration] コンソール



ステップ 2 クリーン、ダーティ、および管理の各インターフェイスに対して、ネットワーク管理者から提供される設定に従い、空白のフィールドに入力します。

ステップ 3 [DHCP Enabled] を [N] に変更します。

- (注) 新しい文字を入力するには、古い文字をバックスペースにする必要があります。

- ステップ 4** [Configure Non-Default Routes] フィールドを、デフォルトの [N] のままにします（追加のルートが必要ない場合）。
- ステップ 5** ネットワークでクリーンネットワークに DNS 名を使用している場合は、[DNS Name] フィールドに DNS 名を入力します。
- ステップ 6** ダーティネットワークの [DNS Name] は空白のままにします。

図 4: 進行中のネットワーク設定（クリーンおよびダーティ）

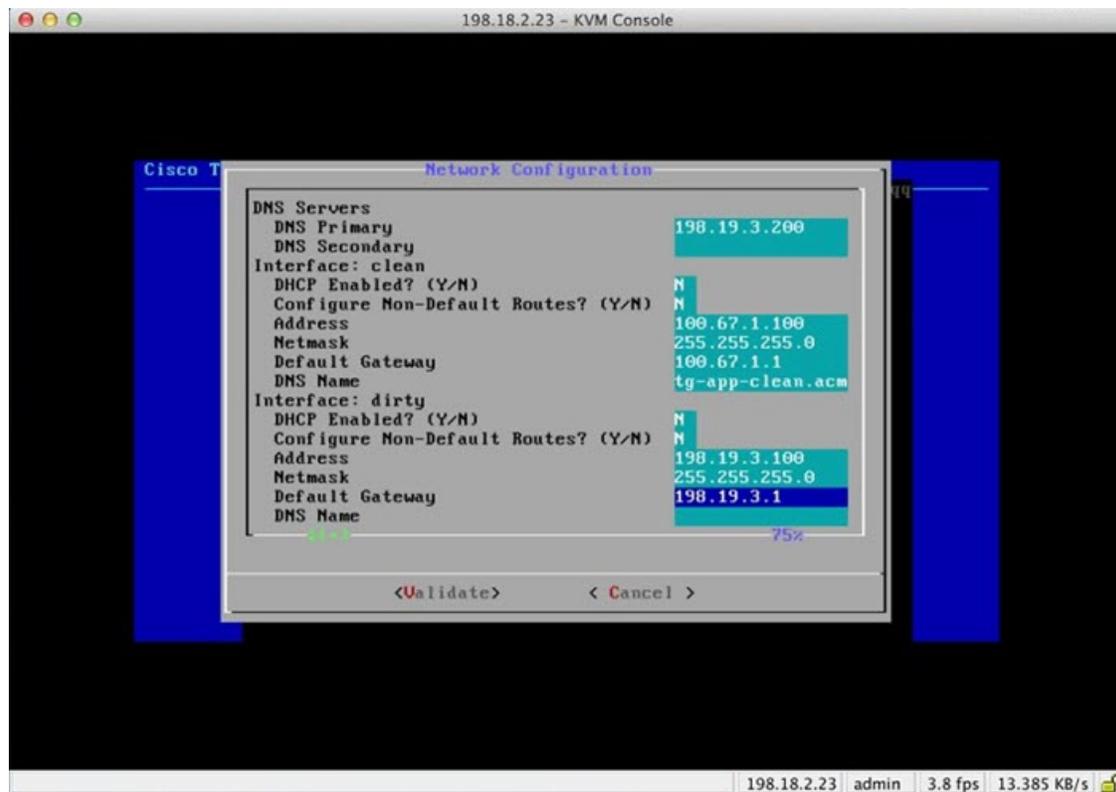
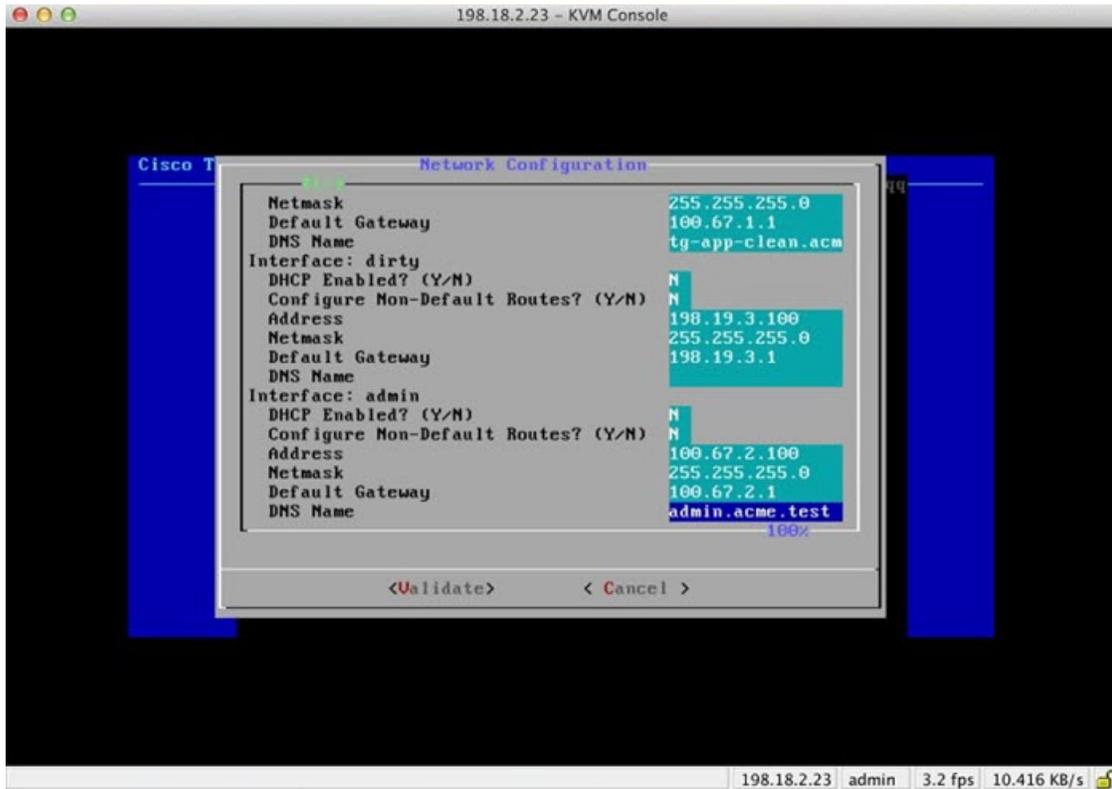


図 5: 進行中のネットワーク設定 (管理者)

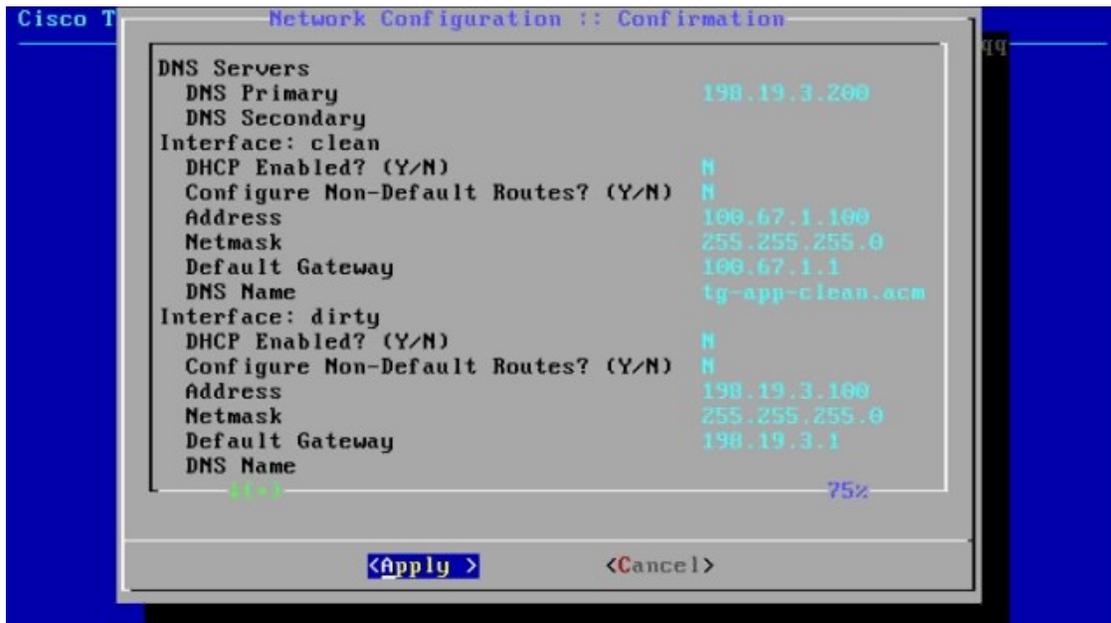


ステップ7 すべてのネットワーク設定を入力したら、Tab キーで下に移動し、[Validate] を選択して入力内容を検証します。

エラーが発生した場合は、無効な値を修正し、もう一度 [Validate] を選択します。

検証が完了すると、[Network Configuration Confirmation] ページに入力した値が表示されます。

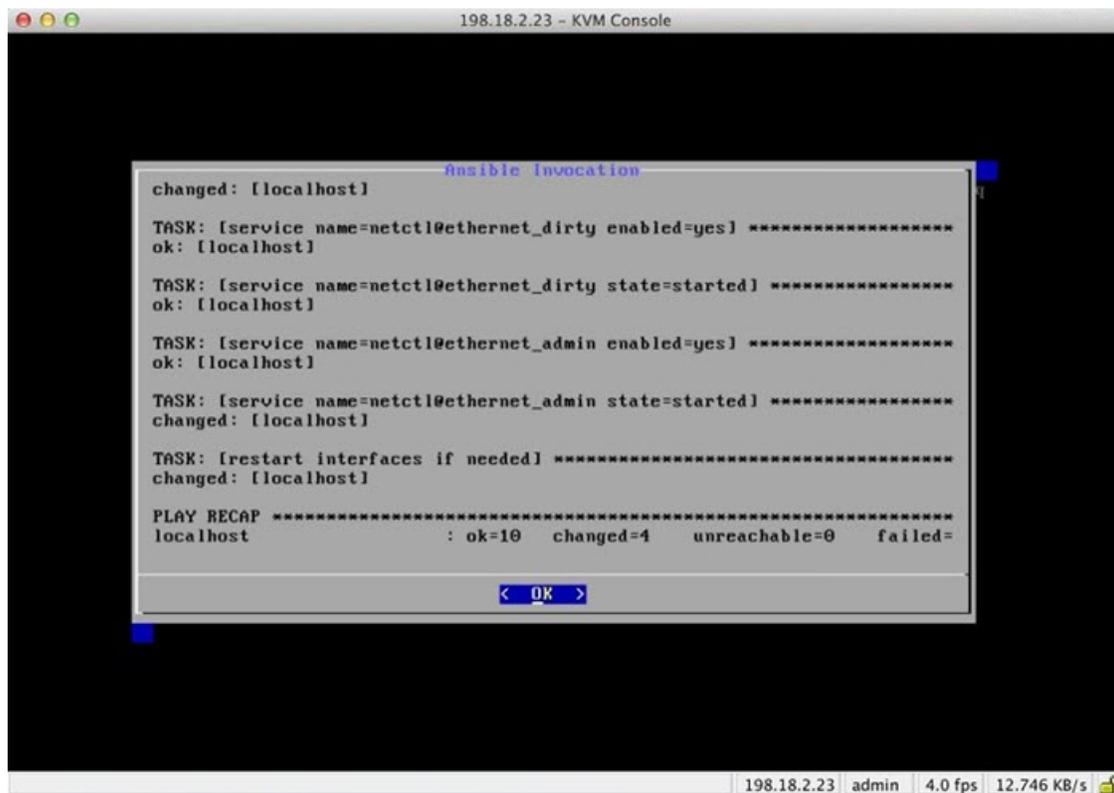
図 6: ネットワーク構成の確認



ステップ 8 [Apply] を選択して各種設定を適用します。

設定が適用された後（完了までに 10 分以上かかる場合があります）、変更の詳細が表示されます。

図 7: ネットワーク設定 : 実行した変更のリスト



The screenshot shows a KVM console window titled "198.18.2.23 - KVM Console". The main content is a terminal window with the following text:

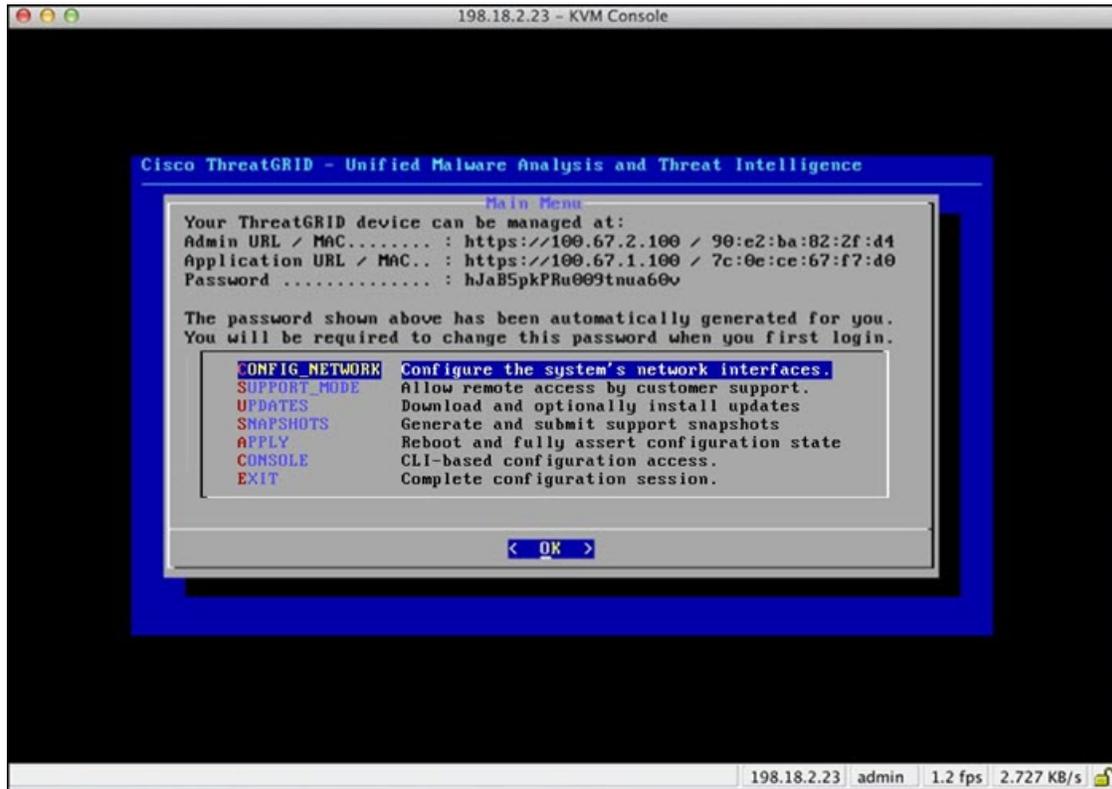
```
changed: [localhost]
Ansible invocation
TASK: [service name=netctl@ethernet_dirty enabled=yes] *****
ok: [localhost]
TASK: [service name=netctl@ethernet_dirty state=started] *****
ok: [localhost]
TASK: [service name=netctl@ethernet_admin enabled=yes] *****
ok: [localhost]
TASK: [service name=netctl@ethernet_admin state=started] *****
changed: [localhost]
TASK: [restart interfaces if needed] *****
changed: [localhost]
PLAY RECAP *****
localhost      : ok=10  changed=4  unreachable=0  failed=
```

At the bottom of the terminal window, there is a blue button labeled "< OK >". The console window's status bar at the bottom right shows "198.18.2.23 | admin | 4.0 fps | 12.746 KB/s | 🔒".

ステップ9 [OK] を選択します。

[Network Configuration] コンソールが更新され、入力した IP アドレスが表示されます。

図 8: IP Addresses



Threat Grid アプライアンスのネットワーク設定が完了しました。

(注) クリーンインターフェイスの URL は OpAdmin Portal の設定が完了するまで機能しません。

次のタスク

Threat Grid アプライアンス設定の次の手順では、「[OpAdmin Portal の設定](#)」で説明されているように、OpAdmin Portal を使用して残りの設定タスクを完了します。